

小学国語の完成

△国語教室▽標準編／本書の特徴と構成

はじめに

国語はあらゆる教科の基礎であると言われています。しかしながら他教科ほど勉強しようという意識が薄い教科ではないでしょうか。国語の学習は他の教科と比べ「学力が身に付いた」という実感を感じにくい教科であるのがその一因と考えられます。

国語の果たす役割は広く、生活や文化の基盤であると言えます。重要な教科であると言える小学生の国語学習において、本書は国語の学力をしっかりと身に付け、それを実感できるテキストです。

ねらい

一般的な国語学習は文章を読み取る際の技術的なことを学習する場面が多くなります。国語力について「これからの時代に求められる国語力」(文部科学省)に、①考える力、感じる力、想像する力、表す力からなる言語を中心とした情報を処理・操作する領域 ②考える力や表す力などを支え、その基盤となる「国語の知識」や「教養・価値観・感性等」の領域を身に付けさせる とあります。これらのことは各段階における入試問題の変化に顕著に表れています。

本書は、①文章を読み返し理解すること。②色々な文章にふれること。③関心や話題に沿って対話すること。④優れた文章を音読したり暗誦すること。⑤相手に伝える優れた文章を書くこと。をねらいとして編集されています。

テキストの構成

基本の確認： 学習テーマや目標 題材に関する基本的な知識事項を整理します。

△10分～15分▽ 考え方や学習のポイントを身に付けます。

基本問題①②… 知識事項の確認を行い、知識を活用して記述力を高める問題に取り組みます。

△20分～30分▽ 表現力を養成する学習ドリルも取り入れています。

練習問題… 表現力を身に付ける文章の「書き写し」や文章の「要約」を行います。

△10分～15分▽ 家庭学習の素材としても活用できます。

挑戦問題… 正確な文章・豊かな表現力、説得ある文章を書く添削シートをテーマごとに用意しました。

(巻末)△30分▽ 読書感想文や意見文、計画・企画表や資料など様々な分野の文章に挑戦しましょう。

△▽は学習時間の目安

標準編学習内容等

回数	学習内容	素材
1	筆者の見方や考えをつかもう	随筆①
2	細部を読み取ろう	随筆②
3	詩をつくろう	詩
4	短歌・俳句をよもう	短歌・俳句
5	あらすじをまとめよう	読書感想文①
6	自分が感じたことや考えを書こう	読書感想文②
7	話題と要点をとらえよう	説明文①
8	文脈をとらえよう	説明文②
9	事実と意見を分けまとめよう	意見文①
10	自分の立場を決め意見を書こう	意見文②
11	具体例を用いよう	スピーチ文①
12	伝えたいことを的確に伝えよう	スピーチ文②
13	順序立てを考えよう	計画・企画表①
14	発想力を使おう	計画・企画表②
15	資料を読み取ろう	資料①
16	資料のポイントを押さえ意見を書こう	資料②
巻末	挑戦問題(添削講座)16回分	

PISA型学力(読解リテラシー)とは

「自らの目標を達成し、自らの知識と可能性を発達させ、効果的に社会に参加するために、書かれた文章等を理解し、利用し、熟考する力」(国立教育政策研究会)とあります。国語を使いこなし、考え理解する力=国語力とよばれるものです。

$3 \times 8 = 24$ $24 - 15 = 9$ のような計算問題がすらすら解けても、「1箱に3個入っているケーキを8箱買いました。そのうち12個を食べてしまいました。残ったケーキは何個でしょうか」という問題で手が止まってしまうことはありませんか?論理的思考の根幹は国語力にあります。

国語学習の基本はやはり「読解力」です。国語力を高めるためには、より高い「読解力」と、「語彙力」「表現力」「記述力」「創造力」「情緒力」「思考力」「作文力」など多様な力を身に付けることが必要です。

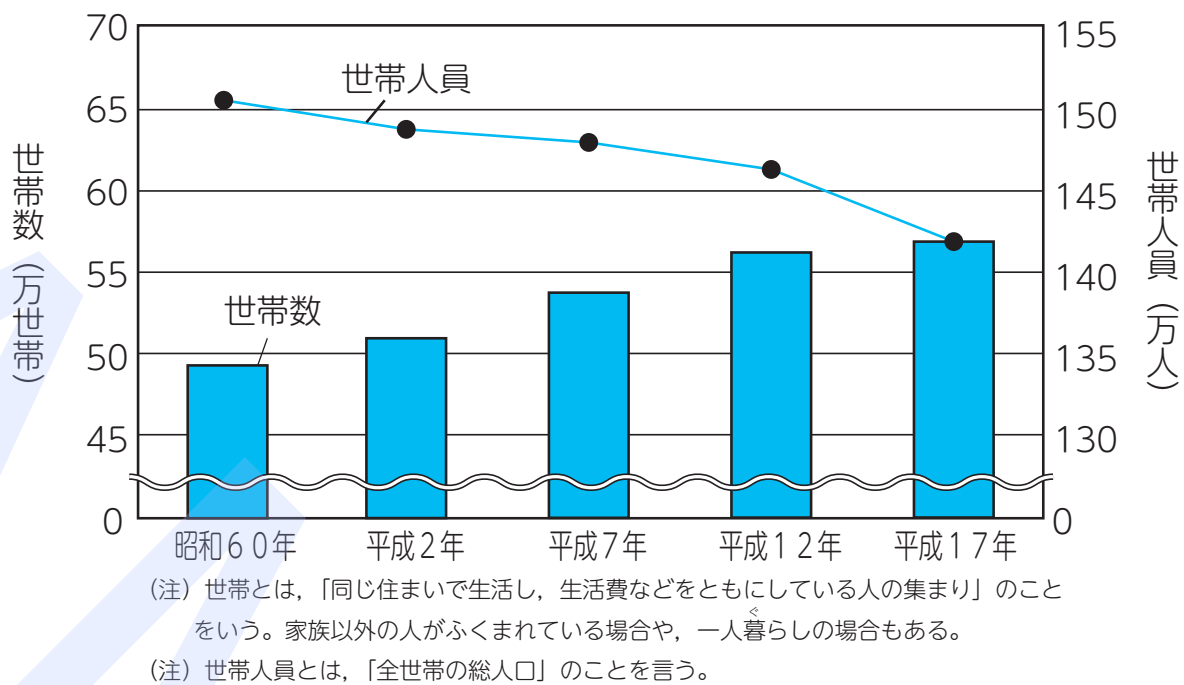
国語教室

資料① 資料を読み取ろう

基本の確認

◆明子さんのクラスでは、家族と地域というテーマで発表を行うことになり、明子さんは世帯数と世帯人員について調べました。
調べるなかで、明子さんは、次のような資料を見つけました。

世帯数と世帯人員の移り変わり



資料の読みとり方

資料を読み取る際には、次のことに気をつけます。

- 1 グラフのたて軸と横軸が何を表しているのか、単位は何であるのかを確認する。
上のグラフのたて軸を見ると、左には世帯数、右には世帯人員が書かれており、単位は万です。横軸には年が書かれています。このことから、年ごとの世帯数と世帯人員の移り変わりを見ればよいと考えます。
- 2 ほかと違うところ、目立つところに目をつける。あたらされたグラフが複数あれば、それぞれのグラフの共通点や相違点に注目する。
上のグラフでは、年ごとに世帯人員が減少している一方、世帯数は増加傾向にある、ということがわかります。
- 3 グラフが何を表しているのかを読みとる。
世帯人員が減少し世帯数が増加する、ということは、一世帯あたりの人数が減ってきていることを意味しています。
- 4 なぜそうなるのか、という疑問を持つ。
一世帯あたりの人数が減ってくるのはなぜだろう、という疑問を持ち、それに対する答えを自分で考えます。日本の現在の社会の様子から、少子化が進んでいること、お年寄りの一人暮らしが増えていること、またお年寄り夫婦のみの家庭が増えていることなどが原因ではないか、などと推測してみるとよいでしょう。

資料の種類

資料を表すグラフには次のような種類があり、何を伝えたいかによって、使うグラフを使い分けれます。

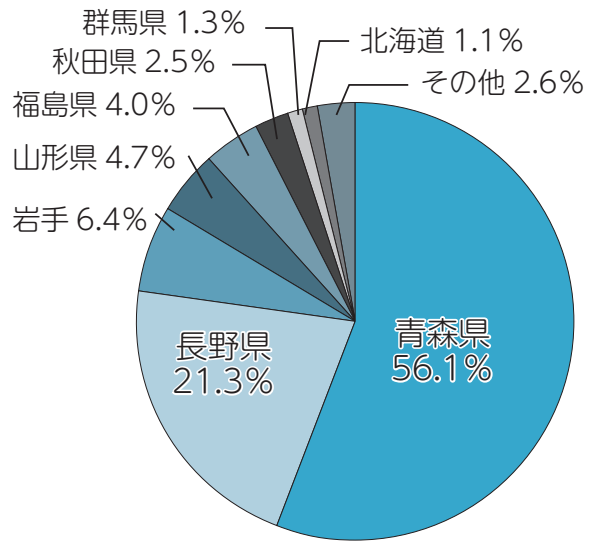
- 1 円グラフ……全体の中での割合を示す。
- 2 棒グラフ……棒の高さで、量の大小を比較する。
- 3 折れ線グラフ……量の増減についての変化を示す。
- 4 帯グラフ……割合を比較する。

資料には、グラフ以外にも、地図や表などで表されたものがあります。

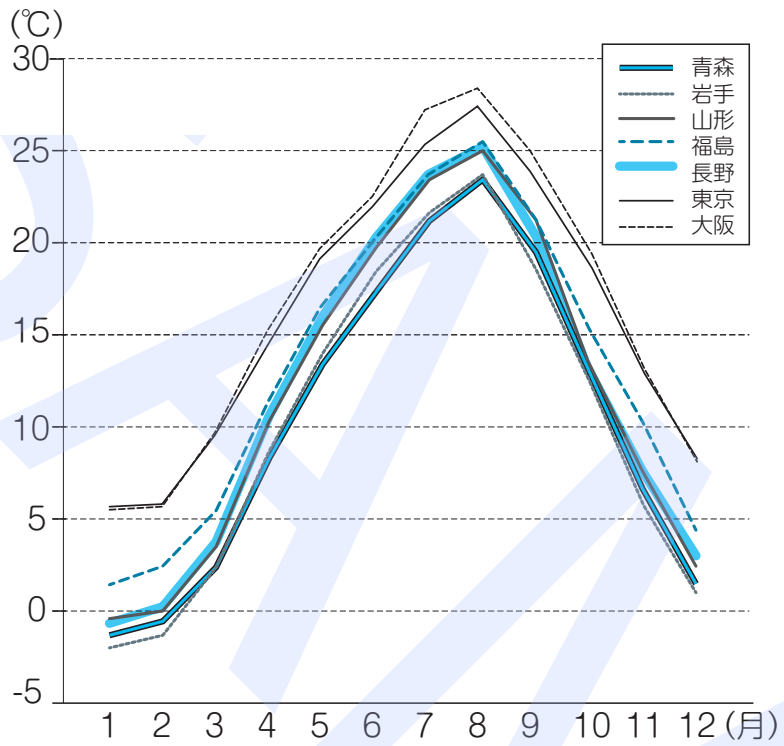
資料①
資料を読み取ろう

長野県A町に住む進さんは、夏休みの自由研究で、農産物の生産地と気温の関係について調べていたところ、次の資料を見つけました。

資料1 リンゴの生産地



資料2 各県の月別平均気温



◆問題

進さんは二つの資料を見て、あることに気がつき、次のようなメモを書きました。進さんのメモにある、それぞれの空らんにあてはまる内容を書きましょう。

【進さんのメモ】

資料1から、

Blank box for writing the answer to the first question.

ということがわかり、

資料2からは、

Blank box for writing the answer to the second question.

ということがわかった。

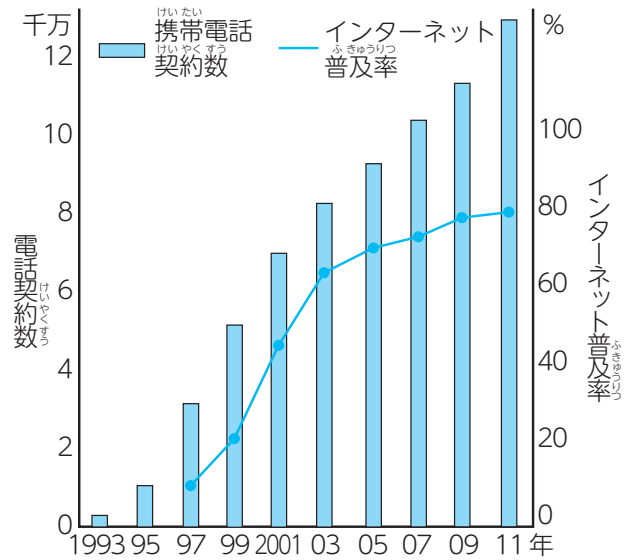
つまり、りんごは寒い地域での栽培に適しているの
だろうと思う。

▽ポイントアドバイス△

- ▼ それぞれの資料から、読み取れることを一つずつまとめると、わかりやすいでしょう。
- ▼ 与えられた資料のすべてにふれて考えましょう。

次のグラフは、携帯電話の契約数とインターネットの普及率について示したグラフです。
このグラフに関して後の問題に答えましょう。

携帯電話契約数とインターネット普及率の移り変わり



◆問題

1 一つの資料に二つのグラフが書かれています。携帯電話の契約数を表しているグラフとインターネットの普及率を表しているグラフの種類にあてはまるものを、それぞれあとのア～エから選び、記号で答えましょう。

- ア 円グラフ
- イ 帯グラフ
- ウ 折れ線グラフ
- エ 棒グラフ

携帯電話契約数……………

インターネットの普及率……………

▽ポイントアドバイス△

- ▼ グラフが複数ある場合は、それぞれのグラフが表していることをしっかりと読み取りましょう。
- ▼ それぞれのグラフにおける変化はなぜ起こったのだろう、という疑問を持つようにしましょう。

2 二つのグラフを見て気づいたことをそれぞれ書いてみましょう。

■ 携帯電話契約数

■ インターネットの普及率

3 二つのグラフを比べてみて携帯電話とインターネットの普及率について考えたことを書いてみましょう。

4 3で考えたような変化があるのは、なぜだと思いますか。あなたの考えを書いてみましょう。

国語教室

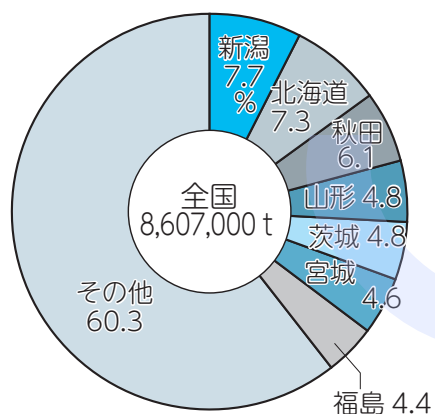
資料① 資料を読み取ろう

◆次の文章は、たぐやさんが、左の二つの資料を見て、読み取ったことを書いたものです。書き写しましょう。

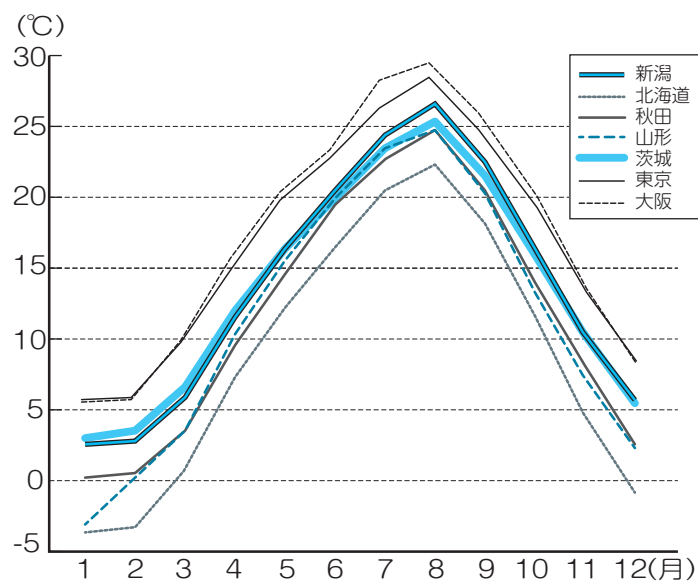
資料 1 から、日本の米の収穫量の上位をしめる県は北海道、新潟、茨城のほかに、すべて東北地方に属していることがわかる。また、資料 2 から、上位 5 道県の気温を見ると、平均気温が他の都府県よりも寒い地域であることがわかる。この二つの資料から、日本での米作りは寒い地域で盛んであると考えられる。

Blank grid for writing the answer.

資料1 県別の米の生産量の割合



資料2 各道県の月別平均気温



うつしてみよう！

自己採点

どのくらい上手に書き写せましたか。

10点満点で自分で点をつけてみましょう。▶

Score box with a diagonal line and the number 10.

書き写しにかかった時間▶

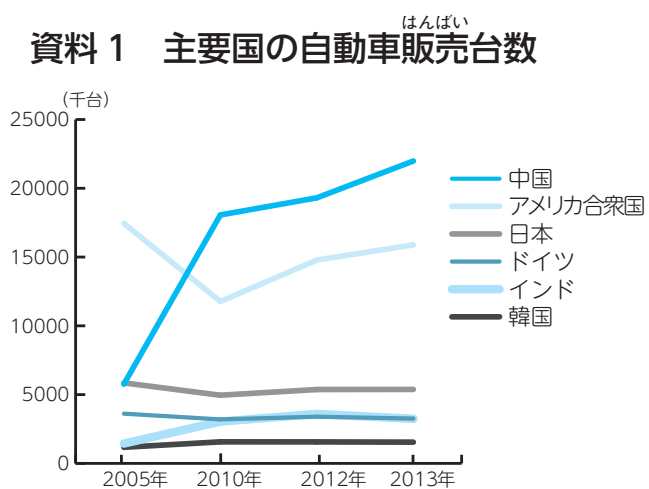
Time box with fields for 分 (minutes) and 秒 (seconds).

理想タイム 約5分

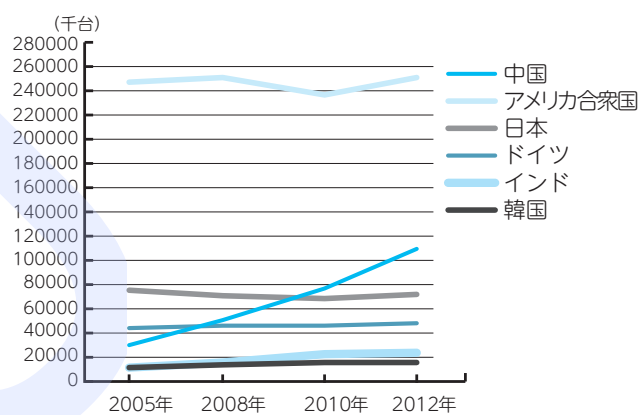
資料を読み取って 書くこと①

◆次の二つの資料を見て、気づいたことや考えたことを、原稿用紙に二百字以内で書きましょう。

資料1 主要国の自動車販売台数



資料2 主要国の自動車保有台数



※題名、氏名は書かず、本文から書きはじめましょう。

Large grid area for writing the response.

●赤マル通知表●

- ★それぞれの資料が何を表しているのかを理解できた。
- ★二つの資料の表す特徴に気づくことができた。
- ★読み取ったことに対する考えや感想をまとめることができた。
- 気づいたことを文章でまとめることができた。
- 主語と述語が対応した文を書くことができた。

よくできていた項目には、赤マルをつけました。

★マークは学習テーマですから、○がなかった人は復習しておきましょう。

●コメント●

Area for comments and a stamp.

*添削者印

学年	性別	フリガナ	塾名	教室名
男・女		氏名		

挑戦問題

【資料①】
資料を読み取ろう

◆ 解答 ◆

基本問題①

◆問題 (例)

(資料1から)

りんごの生産地の上位を占める地方は東北地方である

(2)のことがわかり、資料2からは、

リンゴの生産が盛んな県は似たようなグラフの形をしており、特に一月、二月の平均気温が低い

(と)ということがわかった。

基本問題②

◆問題

① 携帯電話契約数…エ

インターネットの普及率…ウ

② (■)携帯電話契約数

(例) 年々増加している。

(■)インターネットの普及率

(例) 年々増加している。

③ (例) 携帯電話の契約数の増加にともない、インターネットの普及率も増加している。

④ (例) 携帯電話から簡単にインターネットにアクセスすることができるようになり、インターネットを利用する人が増えたから。